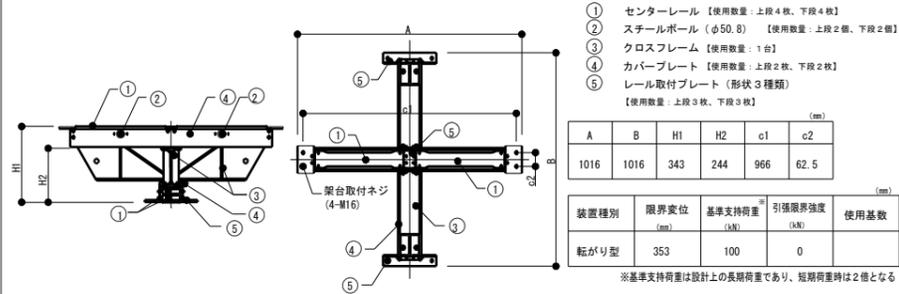


VP免震支承 標準ディテール図

ver. 20-09

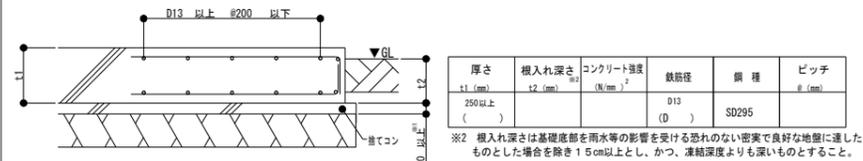
岡部株式会社 営業支援グループ
東京都墨田区押上 2-8-2
TEL. 03-3624-5401 FAX. 03-3624-5154
https://www.okabe.co.jp/mokuzo/vp-menshin/

1. VP免震支承



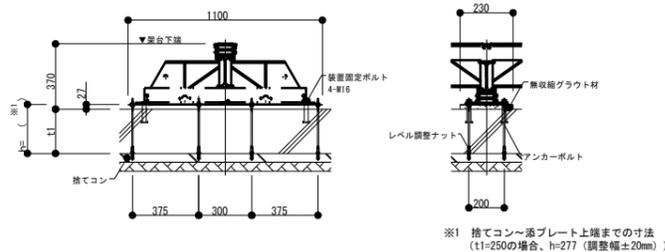
2. 基礎 (ベタ基礎)

※本項は告示2009号第3項及び第4項第三号の規定に適合する場合の標準寸法を示す。



※1 捨てコンの厚さは、構成部材を固定するあと施工アンカーが有効となる厚みとすること。

3. 標準据付工事



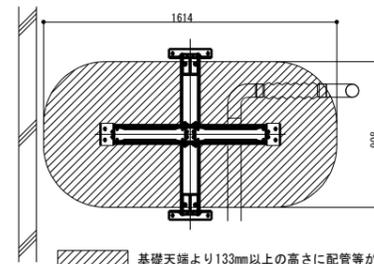
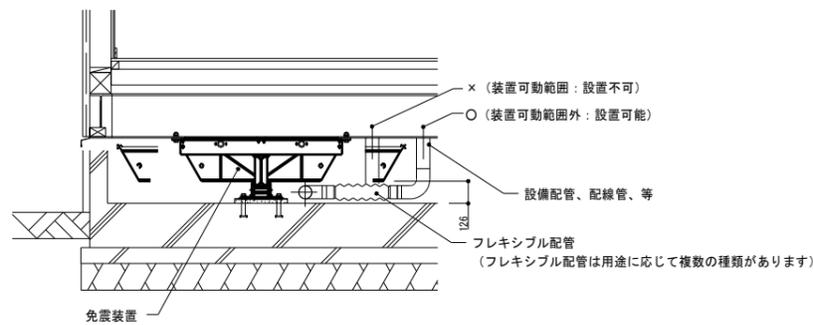
工事場施工

- 設置用アンカーが配置される部分の捨てコンの厚さは50mm以上を目安とし、表面は円滑に仕上げる。
- 各装置を設置するためのアンカー類は、あと施工アンカーにより水平に固定する。
- 高さ方向の調整は、免震装置用ベースアンカーはレベル調整ボルトで、その他の設置用アンカーは、アンカーボルトのネジで調整後、添プレート下端のナットで、添プレートのレベルを調整し、上ナットで固定する。
- グラウト材の充填は、各種装置及びマウント治具設置後に行う。

4. VP免震支承の可動範囲

- VP免震支承の限界変位：353mm
- VP免震支承の設計上の最大変位量：315mm
- VP免震支承及び付随する構造物が、可動時に人等に干渉しないように留意すること

2. 設備配管/配線

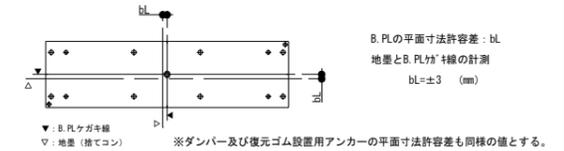


一留意事項一

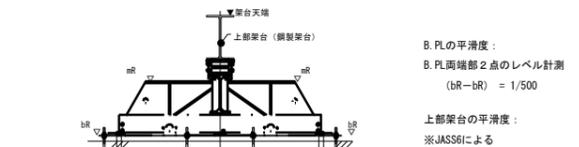
- 免震層に配置する配管・配線類は装置の可動範囲を考慮し、動作の妨げにならないよう注意すること。
- 免震層に配置する配管・配線類は免震層の水平変位に追従できるような構造とすること。(例：フレキシブルジョイントや弛みを持たせる等)

5. 標準設置許容差

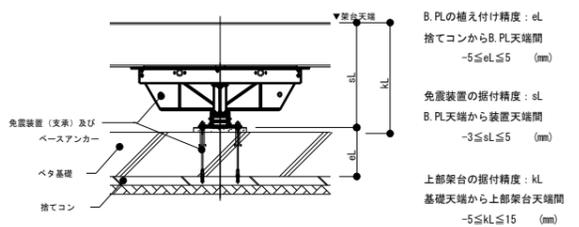
5-1 各種設置用アンカー部材の据付精度 (例：免震装置設置用ベースアンカー)



5-2 平滑度の設置標準許容差



5-3 高さ方向の設置標準許容差



6. 注意事項

- 入荷時に、各装置のボルト等に緩みなどが無いことを確認する。また、異物などの付着・混入がないよう注意すること。付着・混入があった場合は取り除く。
- 各部材の保管は原則として屋内に保管すること。やむを得ず、現場にて屋外に置く場合はシート養生等により保管状況を確認すること。
- 各種装置の取付用部材のネジ部及びタップ孔に欠陥の生じないよう十分な養生を行う。
- 免震装置をベースアンカーに設置する際、装置が移動等を生じないよう、取付ボルトは十分な締め付け力で緊結する。
- 上部架台を設置する際に、位置精度の確保のために各種装置から反力を取るなど、装置に負荷を与えないよう必要に応じて事前に計画をすること。
- 施工完了後 (架台設置工事終了後)、出荷時に免震装置に付いているストッパーピン及びレール固定用ボルトを必ず取り外すこと。

